

## 解剖学第一（形態構造医学）講座

<b>1. 【教育】</b>	
1-1. 到達目標	体構造に関する用語について、日本解剖学用語、国際解剖学用語、医学用語との関係を正しく理解し説明できるようにする。
1-2. 現状説明	講義、骨学実習、解剖実習などにより、到達目標の達成を目指している。 新たに液晶モニター2台による標本や解剖手順などの提示を行っている。
1-3. 点検・評価	教室員全員が最大限努力して対応している。
1-4. 目標・改善方策の達成度	例年、勉学意欲が喪失あるいは著しく低下した学生の数名が不合格となっているが、大半は翌年の再履修で合格となっている。
<b>2. 【研究】</b>	
2-1. 到達目標	①ヒト上肢の運動機構、②哺乳動物の内分泌機構についての研究を進める。
2-2. 現状説明	①では、健常者を対象に動作筋電図、神経筋電気刺激法、post-stimulus time-histogram法、electromyogram-averaging法などを用いて上肢筋の脊髄神経機構などについて調べている。 ②では、ラットなどを対象に光学・蛍光・レーザー・電子顕微鏡、Western blotting、RT-PCR、ELISA などを用いて消化管におけるステロイドホルモンの産生などについて調べている。
2-3. 点検・評価	常に最新、最善の方法を模索しながら、研究を進めている。
2-4. 目標・改善方策の達成度	①、②に関わる課題で科学研究費を獲得している。
<b>3. 【社会貢献】</b>	
3-1. 到達目標	解剖実習室を、本学以外の学生教育、医療従事者の卒後教育などにできるだけ開放する。
3-2. 現状説明	例年、①学外の理学・作業療法学科、看護学科などの学生の解剖・見学実習、②看護師などの見学実習、Ⅲ臨床医の内視鏡および手術トレーニングなどに開放している。
3-3. 点検・評価	例年、①学外の理学・作業療法学科、看護学科などの学生の解剖・見学実習、②看護師などの見学実習、Ⅲ臨床医の内視鏡および手術トレーニングなどに開放している。
3-4. 目標・改善方策の達成度	③のためのご遺体をふやす。

業績分類	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・四分位 (Quartile)	刊行状況	研究情報備考
1-1. 論文/原著 (査読有)	Bich Ngoc Bui, Matteo Boretto, <u>Hiroto Kobayashi</u> , Marliek van Hoesel, Gaby S Steba, Nienke van Hoogenhuijze, Frank JM Broekmans, Hugo Vankelecom, Helen L Torrance.	Organoids Can Be Established Reliably from Cryopreserved Biopsy Catheter-Derived Endometrial Tissue of Infertile Women.	Reproductive BioMedicine Online. 2020 Apr 29; S1472-6483 (20) 30174-30177. PMID: 32622705	IF=3.218, Q1	E Only	D E
1-1. 論文/原著 (査読有)	<u>Hiroto Kobayashi</u> , Nobuyuki Shirasawa, <u>Akira Naito</u> .	Estrogen synthesis in the stomach of Sprague Dawley rats –Comparison to Wistar rats–.	Experimental Animals. 2021; 70(1): 63-72. PMID: 32981898	IF=1.574, Q2		B
2-2-iii. 学会報告/国内学会/一般演題 (査読有)	<u>Nito M, Yoshimoto T, Hashizume W, Naito A</u>	Monosynaptic facilitation of group Ia afferents from the extensor carp radialis to the flexor digitorum superficialis motoneurons in humans.	第43回日本神経科学大会, Web ; 2020年7月			
2-2-iii. 学会報告/国内学会/一般演題 (査読有)	<u>Hiroto Kobayashi</u> , Nobuyuki Shirasawa, <u>Akira Naito</u> .	Age-related changes of estrogen synthesis in the rat gastric mucosa.	The 126th Annual Meeting of The Japanese Association of Anatomists, Web ; March, 2021			B
2-2-iii. 学会報告/国内学会/一般演題 (査読有)	<u>Nito M, Yoshimoto T, Hashizume W, Naito A</u>	Monosynaptic facilitation mediated by group Ia afferents from the extensor carpi radialis to the first dorsal interosseous motoneurons in humans.	第126回日本解剖学会総会・全国学術集会, Web ; 2021年3月			
2-3-iii. 学会報告/国内地方会/一般演題 (査読有)	<u>小林裕人</u> , 白澤信行, <u>内藤輝</u>	ラット胃壁細胞Aromataseの加齢変化	日本解剖学会第66回東北・北海道連合支部学術集会, Web ; 2020年9月			B
2-4-iii. 学会報告/研究会/一般演題 (査読無)	<u>吉元 拓也</u> , <u>仁藤 充洋</u> , <u>橋爪 和足</u> , <u>内藤 輝</u>	ヒト三角筋前部から後部への脊髄反射回路の解析.	第37回山形形態機能研究会, 山形 ; 2020年12月 第37回山形形態機能研究会, 山形 ; 2020年12月			
3. 学会, 講演会, シンポジウム, ワークショップ等の開催						